

令和4年(2022年)3月7日

在宅介護生活サポート事業について(看取り期のサポートガイドツール)

1 趣旨

本市では、(※)平塚市高齢者福祉計画(介護保険事業計画【第8期】)令和3年度～令和5年度において『在宅介護生活サポート事業』を掲げ、今年度より検討しています。

※在宅介護生活サポート事業(地域包括ケア推進課)

重点事業

事業概要	在宅生活の延伸や在宅における看取りを支えるため、市民への情報提供を行うとともに、地域の在宅医療及び介護関係者の連携を推進するためのサポート事業を検討し、展開します。
本計画 実施内容	住み慣れた地域、住まいで人生の最期を迎えるためには、医療職・介護職が連携してサポートすることが重要です。看取り期に焦点をあてた在宅生活における留意点や必要な支援、対応の仕方などを分かりやすく紹介するサポートガイド等のツールについて研究・作成します。

※参考(施策の体系)

基本理念：「長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせる共生のまち ひらつか」

→基本目標2：住み慣れた地域で安心のある生活

→基本施策：医療・介護連携の推進

→施策：医療・介護連携推進のための支援

→重点事業：在宅介護生活サポート事業

2 検討機関

- ・平塚市終末期に向けた活動支援事業検討会
(高齢者よろず相談センター、成年後見利用支援センター、在宅医療・介護連携支援センター)
- ・平塚市在宅医療介護連携推進協議会

3 今後の動き

(令和3年度 県内各市の取組状況調査)

1月26日：平塚市終末期に向けた活動支援事業検討会へ報告、協議

3月16日：同上

3月17日：平塚市在宅医療介護連携推進協議会へ報告、協議

令和4年度 継続してツールの検討、方向性の決定、試作品の作成

令和5年度 ツールの完成、市民等へ配布開始

4 今後の課題

- ・本市の看取りにおける課題を抽出し、対応したツールを検討。
(例)市民が元気なうちから人生の最終段階や看取りについて考え、家族や医療職、介護職が連携して話し合うきっかけが少ない(→看取り期のサポートマップを作成するなど)

以上

(事務担当は平塚市福祉部地域包括ケア推進課 医療・介護連携推進担当)